

平成28年度 第47回 関東中学校サッカー大会 要項

- 1、 目的 関東中学校体育大会は、中学校教育の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上と、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成する。また、スポーツの交流を通じて各都県間の親睦を図り、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。
- 2、 主催 関東中学校体育連盟 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会
(一社)関東サッカー協会 (公財)埼玉県サッカー協会
- 3、 主管 埼玉県中学校体育連盟
- 4、 後援 埼玉県中学校長会 さいたま市中学校長会 (公財)埼玉県体育協会 (公財)さいたま市体育協会 埼玉新聞社 テレ玉
- 5、 会議・競技日程及び会場
- (1) 大会期間 平成28年 8月6日(土)～9日(火)
- (2) 諸会議 8月6日(土)
- | | | |
|----------|--------|---------------------|
| ① 関東競技部会 | 10:30～ | さいたま市民会館うらわ(707集会室) |
| ② 監督者会議 | 13:00～ | さいたま市仲町公民館講座室 |
| ③ 審判員研修会 | 13:00～ | 駒場スタジアム |
| ④ 審判員会議 | 19:00～ | さいたま市仲町公民館講座室 |
- (3) 開会式 8月6日(土) 15:00～ さいたま市民会館うらわホール
- (4) 競技
- | | | |
|-----------------------------|--|---------------------|
| 8月7日(日) | 8試合(2試合×4会場) | ※雷雨時：RHF駒場・八王子グラウンド |
| ★ 1回戦
第1試合 10:00
・会場: | ★ 第2試合 12:30
埼玉スタジアム2002第2グラウンド・埼玉スタジアム2002第3グラウンド
浦和駒場スタジアム・秋葉の森総合公園サッカー場 | |
- | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------|
| 8月8日(月) | 4試合(2試合×2会場) | ※雷雨時：RHF駒場・八王子グラウンド |
| ★ 2回戦
第1試合 9:30・11:30
・会場: | 埼玉スタジアム2002第2グラウンド・埼玉スタジアム2002第3グラウンド | |
| 敗者戦
★ 第1試合 13:15・15:15
・会場: | 2試合(2試合×1会場)
埼玉スタジアム2002第4グラウンド | |
- | | | |
|--------------------------------|--------------------------|--|
| 8月9日(火) | 2試合(1試合×2会場) | |
| ★ 準決勝
2試合共 9:30
・会場: | NACK5スタジアム大宮・浦和駒場スタジアム | |
| ★ 決勝
1試合 14:30
・会場: | 1試合(1会場)
NACK5スタジアム大宮 | |
| ★ 最終代表決定戦
1試合 11:45
・会場: | 1試合(1会場)
浦和駒場スタジアム | |
- (5) 閉会式 8月9日(火) 16:00～ NACK5スタジアム大宮
- 6、 会議・競技の会場情報一覧 ()内は芝の種類
- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| ・さいたま市民会館うらわ | さいたま市浦和区仲町2-10-22 |
| ・さいたま市仲町公民館 | さいたま市浦和区常盤4-1-12 |
| ・埼玉スタジアム2002 (第2・第3-天然/第4-人工) | さいたま市緑区中野田500 |
| ・浦和駒場スタジアム(天然) | さいたま市浦和区駒場2-1-1 |
| ・RHF(レスハートフルフィールド)駒場(人工) | 同上 |
| ・NACK5スタジアム大宮(天然) | さいたま市大宮区高鼻町4 |
| ・秋葉の森総合公園サッカー場(天然) | さいたま市西区大字中釘1241 |
| ・与野八王子サッカーグラウンド(人工) | さいたま市中央区八王子4-1 |
- 7、 参加資格
- (1) 都県中学校体育連盟の学校に在学し、当該競技要項により、関東中学校体育大会の参加資格を得た者とする。参加する生徒は、学齢・修業年限が一致していること。ただし、その年度の6月30日までに、都県中学校体育連盟を通じて(公財)日本中学校体育連盟に申し出、承認を得た生徒についてはその限りではない。
- (2) 夏季大会に限り、同一年度の参加は全競技を通じて一人1回とする。
- (3) 大会参加料を納めること。(登録選手は、1人一律2,000円)
- (4) 「参加資格の特例」については、下記の①、②の通りとする。
- ① 学校教育法第134条の各種学校(1校以外)に在籍し、各都県中学校体育連盟の予選大会に参加し、関東中学校体育大会参加資格を得たもの。
- ② 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
- ア 関東大会の参加を認める条件
- a 関東中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- b 参加を希望する学校にあっては、学齢・修業年限が一致していること。また、連携校との生徒による混成は認めない。
- c 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、運営が適切であること。
- イ 関東大会に参加した場合に守るべき条件
- a 関東中学校体育連盟大会要項及び規則を遵守するとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- b 大会参加にあっては、責任ある教員が引率するとともに、万一事故の発生に備え、傷害保険等に加入するなど万全の事故対策を立てておくこと。
- c 大会に参加する経費は、当該校が負担すること。
- (5) 合同チームの参加については、「関東中学校体育大会合同チーム参加規定」により、参加を認める。
- ① 合同チームは、各校競技人数(11名)を下回った場合のみ編成することができる。
- ② 参加にあたっては、下記の条件を具備していること。
- ア 合同チームは2校として、当該校の校長が認めたものであること。
- イ 各校の教育計画に基づき運動部(顧問は校長・教員)として位置づけられており、計画的に日常の活動をしていること。
- ウ 合同チームの各校は、各都県中体連に加盟しており、大会参加においては各都県中体連が承認していること。
- (6) (公財)日本サッカー協会の子加盟チーム選手は、在籍中学校の生徒であれば、本大会に参加することができる。
- 8、 監督・引率
- (1) 参加生徒の監督・引率は、出場校の校長、教員とする。
- (2) 外部指導者(1名)をつける場合は校長が認めたものとする。また、事前に校長との間で、外部指導者として契約が文書でなされていることとする。参加申込書に必ず記載し、関東中学校体育大会の「外部指導者の規程」に従うものとする。
- 9、 参加制限
- (1) 関東各都県から、1都県2代表として選出された16チームによって行う。
- (2) 1チームは、引率者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の計21名以内とする。
- (3) 開会式の参加は、登録したメンバーとし、統一した服装で参加する。

- 10、 競技規則
- (1) 2016/2017年（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
 - (2) 交代に関しては、大会1日目は競技開始前に登録した7名の交代要員の中から最大7名までの交代が認められ、一度退いた競技者は再び出場することが出来ない。ただし、2日目以降に関しては再交代（一度退いた競技者も再び出場できる）を適用し、交代の回数は7回までと制限する。交代の手続きは従来のサッカー競技規則第3条に則って行う。
 - (3) 関東中学校大会に参加するチームが、予選となる都県大会最終戦において、退場を命ぜられた選手は、その内容により未消化分は本大会には出場できない。
 - (4) 本大会期間中、警告を2度受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - (5) 本大会において、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律委員会（各都県委員長）において決定する。
なお、本大会において、退場を命ぜられた選手の出場停止処分に未消化分が発生した場合は、全国大会にその未消化分が継続する。
- 11、 競技方法
- (1) 競技は、ノックアウト方式とする。
 - (2) 準決勝進出4チームは、第47回 全国中学校サッカー大会に出場できる。
 - (3) 2回戦敗者による代表決定戦を行い、そのうち上位3チームは、第47回全国中学校サッカー大会に出場できる。（計7チーム）
 - (4) 試合時間は、60分とし、ハーフタイムのインターバルは、原則として10分間とする。また、勝敗の決しない場合は、10分間の延長とし、なお、決しない場合はPK方式により、次回戦進出チームおよび優勝チームを決定する。
 - (5) 競技中に前後半に1回ずつ、3分間のクーリングブレイクを設ける。
 - (6) テクニカルエリアを設け、監督・コーチのいずれか1名がその範囲内で指示することができる。
 - (7) 試合球はモルテン、ミカサ製とする。
- 12、 表彰
- (1) 優勝チームに、関東中体連優勝旗（持ち回り）、優勝杯（持ち回り）、賞状、メダル（登録選手18名分）を授与する。
 - (2) 準優勝チーム並び、3位チームには、楯及び賞状、メダル（登録選手18名分）を授与する。
- 13、 ユニフォーム規定
- (1) ユニフォームは、参加申込書に記入したものを着用し、選手番号（1番から99番）をつける。
選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縞柄の場合は、台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - (2) 選手番号を付ける場所及びサイズは次の通りとする。
 - ① シャツの背面 縦25cm程度の選手番号をつける。（番号の横は縦に比例して適当な大きさで見やすいものとする。）
 - ② シャツの前面 右側、左側または中央に縦10cm程度は必ず付けること。尚、ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。その場合は、ショーツ前面の右側または左側に縦8cm程度の選手番号を付ける。（番号の横は縦に比例して適当な大きさで見やすいものとする。）
 - (3) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は正の他に、副として異なる色のユニフォームを参加申込書に記載し、必ず、試合会場までその2着のユニフォームを携行すること。
 - (4) 審判員と同一色、または類似色（黒・紺系）のユニフォームをシャツに用いることはできない。但し、ショーツやストッキングの色は黒でも可とし、組み合わせも可とする。
 - (5) 上記の他、ユニフォームに関しては、「(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定」による。
 - (6) 各チームともユニフォームと異なる2色のピブスを持参し、控えの選手は着用すること。
- 18、 その他
- (1) 大会期間中の負傷・疾病については、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。参加者は、健康保険証を持参すること。健康保険証がない場合は、医療保険が受けられない場合がある。
 - (2) 監督会議の受付時に関東大会、全国大会の書類を提出すること。